

いしかわ県民新型コロナウイルス抗体保有調査第1回調査結果(概要)

(1) ワクチン接種後のスパイク抗体の陽性率は **99%以上**

スパイク抗体陽性者 **1,869名(99.7%)**

スパイク抗体陰性者 **6名(0.3%)**

※スパイク抗体: 新型コロナウイルスの突起(スパイク)の細胞受容体(レセプター)に結合する領域に対する抗体で、ウイルス感染、ワクチン接種のいずれでも陽性になる。

※スパイク抗体が0.8単位/mL未満で陰性となる。

(2) 自己申告で「感染歴なし」と答えた者 1,831名のうち、NC抗体陽性の者は **14名(0.76%)**

※NC抗体: スクレオカプシド抗体。新型コロナウイルス粒子の内部にあるコア蛋白質に対する抗体で、ワクチン接種では陽性になることはない。

NC抗体が陽性であれば、これまでに新型コロナウイルスに感染したことを示す。

(3) 抗体価が高いほど **副反応の出現率も高い傾向**

※抗体価は、ワクチンの種類、性、年齢、ワクチン接種後の時間や接種後の副反応出現率、持病の有無と有意に相関

(4) スパイク抗体は、ワクチン接種後の時間が長いほど低くなっていたが、**接種後8か月後もほぼ十分な抗体価が持続**すると推察

(5) これまでに新型コロナウイルスに感染したことがある者のワクチン接種後の副反応の出現状況から、未感染者の**3回目のワクチン接種後の副反応の出現率は、2回目とほぼ同程度**と推察

記載内容を勝手に複写して、使用することを禁じます。
使用するには下記あてにご連絡ください。

E-mail kennsui3@pref.ishikawa.lg.jp